

# しよしかんてつ 初志貫徹

「克己復礼（こっきふくれい）」【論語】は、「私欲にうち勝ち、礼をつくす」という意味です。自分に厳しく、他人には尊敬の念をもって、礼を尽くす生き方を示しています。3年生よ、克己で「全員合格」を！

学校教育目標

夢と志ともら、実現に向かって  
自ら努力し続ける生徒の育成

八代市立第四中学校だより

第9号 令和6年1月12日

文責 校長 沖田 龍藏

## 四中生一人一人が次年度につながる3学期にしていきたいと思います！



9日（火）に3学期始業式を無事に迎えました。しかしながら、元日から能登半島地震や日本航空と海上保安庁の航空機が衝突する痛ましい事故・自然災害が起きました。多くの尊い命が失われたという悲しくつらい思いを共有しつつ、災害からの復旧・復興を祈りたいと思います。辰年は「変革（転機）」の年、「夢を叶えやすい」年とも言われます。2学期は、体育大会・文化祭の学校行事をはじめ、大やちわ祭等の地域行事で実り多い学期でした。昨年暮れには新生徒会役員改選やみぞれ混じりの中、校内駅伝・持久走大会で盛り上がりました。始業式の前に区間賞や優勝クラスを全校表彰し、称賛し合い新学期のスターを切ったところでした。式の中では、各学年の代表者が3学期の目標を堂々と発表しました。「3年生は、進路実現の受験勉強に追い込みをかける、2年生は最高学年として四中を引っ張っていききたい、1年生は監督の笑顔を見るために、部活の大会で勝利したい等」、様々な思いを言葉に表していました。四中生一人一人が自分に置き換えて代表者の発表を傾聴していました。私も生徒に自分が今在る存在理由を語りました。高校1年の3学期、高校生活の目標を見失い、怠惰な日々流されていた頃、このままでは青春時代はあっという間に過ぎ去ると自覚させてくれた曲（甲斐バンドの「ビューティフルエネルギー」）があったことを紹介しました。そして、かけがえのない中学時代の日々を大事にとメッセージを送りました。入学当初、先輩に誘われるままに夏の県大会予選まで、元ソフトバンクホークス監督、秋山幸二氏がおられた野球部で甲子園を目指したが、あえなく退部。その後、漠然と大学進学は考えていたものの、あまり勉学に身が入らずにいた頃、「もう二度とこの輝きにあえない、あえないかもしれないから、今、金色の汗を流そうぜ」という甲斐バンドの歌が心に突き刺さりました。この曲をきっかけに中学時代にやっていたハンドボールで汗を流そうと再度、部活動に入部し、挫折を繰り返しながらも「文武両道」に挑戦して



きました。人生を振り返っても、このように物事がうまく行かずに失敗し、やる気や自信をなくしたときは、「音楽（ロック）の力」に何度も助けられ、勇気を与えられたと思います。11日（木）は、有馬さんに続く、第2弾、声楽家・オペラ歌手 本岩孝之さん（本校 S54 年卒）による「夢実現」講演会を開催しました。本岩さんは私と高校のときの同級生なので、ぜひ後輩たちの「夢実現」に灯をつけてほしいと依頼しました。日頃は関東を中心に

プロの歌手としてコンサート活動をされているので帰省にあわせてもらいました。「魂をゆさぶる歌声」のアベマリア等を一緒に聴きました。また、幸運は努力している人に突然訪れることも経験を基に熱く語られていました。ご家庭でも教育講話について振り返ってもらえればと思います。